

竜頭山 天竜の森

亜高山帯の自然の残る森

標高 1350m の竜頭山を中心とした天竜の森では、亜高山帯に多い樹木を数多く見ることができます。ブナやミズナラなど、街中ではあまりお目にかかることのできない自然の大木に触れてみてください。



大板屋名月

カエデ科
Aceraceae

オオイタヤマゲツ ACER SHIRASAWANUM



本州の宮城県より南と四国に分布する落葉高木。葉は大きく 9〜11 裂する。春の新緑と秋の黄葉が美しい。

オオイタヤマゲツ (大板屋名月)

本州の宮城県以南から四国にかけて分布するカエデ科の落葉高木です。ここ天竜の森では、中央広場から竜頭山に向かう修験の森の遊歩道や、野鳥の森などに多く見られます。カエデ類には様々な品種がありますが、○○モミジ、○○カエデ、という名前の多いカエデ類の中で、「大板屋名月」とは風流な名前です。こんな風流な名前は、園芸的に作り出された品種ではないかと思われがちですが、これが立派な自然の品種です。葉っぱが大きくて、裂片は 11 枚程度に分かれるのが特徴です。「大板屋名月」の名前の由来は、「板屋」というのは葉がよく茂って板ぶきの屋根のように雨が漏らないこと、「名月」とは、丸い葉の形を満月にたとえたものとされます。

ブナ (樺)

日本の自然林を代表するブナ科ブナ属の落葉高木です。ミズナラと同様、温帯域でもやや温度の低い冷温帯に分布します。富士山でいえば標高 1000m〜1600mあたりの亜高山帯がブナ帯となりますが、ここ天竜の森でも中央広場から 1350m の竜頭山山頂にかけて、修験の森の散策ルートのそここでブナの巨木に出会うことができます。近年では、天然のブナは大半が伐採されてスギ・ヒノキの人工林に代わり、ブナ林はわずかしが残っていません。環境問題が注目を集めている今、ブナは、自然の森を守り育てる活動の象徴的な存在ともいえます。

樺

ブナ



ブナ科
Fagaceae

FAGUS CRENATA

温帯林を代表する落葉高木。春の新芽、秋の紅葉ともに美しい。種子はソバの形、軟毛のいがに包まれている。

ミズナラ (水樺)

ミズナラはブナとともに冷温帯を代表するブナ科の落葉広葉樹で、成長すると樹高は 30m 以上に達します。ここ天竜の森でも、修験の森の遊歩道や野鳥の森などで、ブナと並んで大きな木になっています。日本全国の山地に生育し、ブナよりもやや低い地域にも生育するため、分布はブナよりも広くなります。尾状にたれ下がる花は若葉の展開と同じく 5 月ごろ咲き、秋にドングリが実ります。ミズナラの材は優秀で、高級家具材として使われたそうです。

水木

ミズキ科
Cornaceae

ミズキ

CORNUS CONTROVERSA



山地に普遍的な落葉高木。5〜6 月、横に広がった枝の上に小さい白い花が一面に咲く。材は白く、コケシを作る。

ミズキ (水木)

ミズキは北海道から九州まで、日本全国の山地に生育するミズキ科ミズキ属の落葉高木です。ここ天竜の森では、修験の森や野鳥の森などで大きく成長したミズキを見ることができます。「水木」の名は、樹液が多く、春先に枝を切ると水が滴り落ちることから名付けられたとされます。このため、渓谷沿いの水分条件の良い場所や谷の斜面などに多く生育します。5 月から 6 月にかけて、小さな白い花が横に広がった枝の上面に咲きます。果実は秋に黒く熟します。

オオバアサガラ (大葉麻殻)

オオバアサガラは本州から九州に生育するエゴノキ科の落葉小高木で、ブナ林などの広葉樹林帯の渓流沿いなどに生えます。白い花は 6 月頃、枝先にたくさんついで垂れ下がります。アサガラとは、枝が折れやすく皮が糸状に剥けることを、麻の茎に例えたものです。

シロヤシオ (五葉躑躅)

シロヤシオは本州から四国の山地に咲くツツジ科の落葉小高木です。葉が 5 枚ずつつくことから、別名五葉躑躅 (ゴヨウツツジ) ともいわれます。白い花は 5 月〜6 月に咲きますが、比較的標高の高いブナ帯などに生育し、街中ではあまり見られないため、この時期、花好きの方は「シロヤシオ見学ツアー」として山歩きに出かけることが多いようです。皇太子殿下の内親王愛子様のお印 (表記はゴヨウツツジ) にもなっています。ここ天竜の森でも、標高 1350m の竜頭山山頂部に群生し、ここに登ってきた人だけが楽しめるお宝です。

ミヤマザクラ (深山桜)

ミヤマザクラはバラ科の落葉高木で、サクラの野生種の一つです。比較的寒冷な気候を好むため、名前の通り奥山に生えることが多いようです。サクラの仲間では花期が遅く、5 月下旬から 6 月頃、葉が開き終えてから小ぶりの白い花を房状に密集させて咲きます。別名シロザクラともいわれます。

水樺

ブナ科
Fagaceae

ミズナラ

QUERCUS CRISPULA



各地の少し寒い山に生える。木の高さ 35m、直径 2m になる。果実は長さ 2〜3cm の長楕円形。家具材に利用。

五葉躑躅

ツツジ科
Ericaceae

シロヤシオ (ゴヨウツツジ)

RHODODENDRON QUINQUEFOLIUM



山の尾根に生える落葉小高木。高さ 6m になる。葉は枝先に 5 枚ずつつく。5〜6 月、白い花が咲く。